



# 資料館だより

No.42  
2012年  
10月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

[www.aozora.or.jp/ecomuse/](http://www.aozora.or.jp/ecomuse/)

あおぞら  
財団付属

西淀川・公害と環境資料館

エコミューズ

## 西淀川図書館展示(9/21~10/14) インターン生が作成 テーマは 映画「娘たちは風にむかって」1972年

この映画は、1966年に大阪・西淀川にある大建被服工場で実際に起こった労働争議が素材となっています。西淀川区でロケがおこなわれており、懐かしい風景を見ることができます。大建被服で働いていた



岩橋浪枝さんから頂いた資料などをもとに展示しています。この労働争議は偽装倒産で解雇された女の子たちが、工場に立ちこもって闘っためずらしい労働争議です。

作成したインターン生2人のコメント抜粋です。

■映画では、私とたいして変わらない年頃の女の子たちが、自分たちの働く権利や労働者としての誇りを守るために会社や「社会」に働きかけていた。見ていると「あ！こんな子クラスにいる！」「この子の性格友達に似ている」と思うところもあった。映画は西淀川で実際に収録されており、空き地で野球している少年や、トタン屋根など当時の西淀川に住む人々の生活も映し出されていた。立ち並ぶ工場や煙突、公害反対デモの様子も出ており、当時の西淀川の雰囲気、様子が伝わってきた。(佐久川恵美・京都精華大学2年生)

■バブルが崩壊したまさにその年に生まれた私からすると高度経済成長期と聞けば、映画でもよく取り上げられるような希望に満ちあふれた時代というプラスのイメージばかりがあった。しかし、その裏には業績や利益を求めた結果、犠牲になった人たちが多くいたという事実があり、とても驚いた。西淀川で起きた公害も利潤を追求した犠牲という意味では同じなのではないだろうか。映画からは女の強さと、争議団の絆、労働者としての誇りを強く感じた。私も、今年就職活動を控えている。乙女争議団のような誇りを持てる道を歩いていけたらと感じた。(田窪千奈未・桃山学院大学3年生)

## ●天野が語る、この資料●

リーフレット「澄んだ空気の下で生きたい」

西淀川公害裁判には最初から困難な場面がありました。NO2環境基準を2~3倍もゆるめ、それに連動して公害指定地域の全面解除や政府・自民党による「公害は終わった」の大キャンペーン、黒田革新府政の転覆など公害行政の後退、そして被告側が44名もの新たな証人申請を行い裁判の大幅引き延ばしを画策してくる局面がありました。



リーフレット

原告側は1988年3月18日に中之島中央公会堂に2200名を集める決起集会を成功させ、「大気汚染公害をなくし、被害者の早期・完全救済をめざす大阪府民会議」を結成し、「府民ぐるみの壮大な闘う組織」が以降の裁判闘争の転機を作り出していきました。

地元の西淀川でも1988年8月に川北連合副団長、市職西淀川区役所支部、淀川勤労者厚生協会などの呼びかけで区民連絡会を結成し、運動を推進していきます。

この運動の中で作られたのが「澄んだ空気の下で生きたい」というリーフレットです。「病室のドアを開けて 近づこうとすると / 入って来ないで 空気がへる / あえぎながら吐いた 彼女の言葉だった」で始まるルポ詩「塞がれた空」(片山礼)と南竹照代さんの遺影を手にするお母さん、学校への欠席連絡が記入された照代さんの生徒手帳と共に、宮本憲一(大阪市立大学教授)、浜田耕助(原告団団長)の文章が掲載されています。多くの方々に手渡され、裁判の意義を訴えた記念すべきリーフレットです。(資料整理スタッフ 天野憲一郎)

# 所蔵資料紹介

## 30年前の西淀川を 上空から撮影

井上善雄さんは西淀川出身の弁護士です。西淀川公害の患者から裁判の相談を最初にされたのが井上弁護士です。

あおぞら財団には、弁護士が撮影した写真を保存していますが、それらの写真はほとんどが「井上善雄撮影」となっています。パノラマ写真がない時代に、角度を変えて何枚も撮影して淀川河口の様子を撮影した写真は、大阪歴史博物館の「水都大阪と淀川」展にも使用されました。また、八尾飛行場からセスナ機を飛ばして西淀川上空を撮影した写真も多数あります。工場の様

子も30年前とはずいぶんと変わってきました。これらの写真が、西淀川の街の様子を伝える貴重な資料となっていくことでしょう。(林美帆)



井上善雄弁護士と山川元庸弁護士。これから撮影します！(1983年8月13日)

淀川河口と合同製鐵、中山鉱業 (1982年)



30年前の中島、佃の様子 (1983年8月13日)

### やかた 館 訪問記

## 富山県立イタイタイ病資料館

富山市友杉151番地 (とやま健康パーク内)  
<http://itaitai-dis.jp/>

イタイタイ病の資料館が今春にオープンしました。富山空港からすぐの立地です。イタイタイ病の土壌汚染があった地の上に作られました。資料館の周りにも土壌復元が終わって稲作がおこなわれている田んぼが広がっています。展示は被害から裁判、土壌復元までコンパクトにわかりやすく学習することができます。申し込めば語り部さんのお話も聞くことができます。



この資料館の建設にあたって、イタイタイ病対策協議会会長の高木勲寛さんは毎日富山県庁に通って進行を見守ってきたそうです。住民の思いが詰まった資料館です。富山に行った時には是非お立ち寄りください。(訪問日2012年9月2日 林)

### 編集後記

今夏もさまざまな大学からインターン生が来ました。表面で紹介した展示作成をした2人です。ちょっと不思議なポーズ？(Y)



大野 佐  
野 久  
川 窪  
さん さん  
緑 (右) (左)  
陰 道 路 路 路  
にて と

資料館だより No.42  
2012年10月号(季刊1日、年4回発行)

発行所 あおぞら財団付属  
西淀川・公害と環境資料館  
(エコミューズ)  
連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1  
あおぞらビル5F(〒555-0013)  
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885  
Email: webmaster@aozora.or.jp  
<http://www.aozora.or.jp/ecomuse/>

### \*お知らせ\*

【加入者名】あおぞら財団  
※通信欄に「ハモン基金への  
寄付」とご記入ください。  
一口の金額はお選びくだ  
さい。

【ハモン基金】  
エコミューズ活動資金  
エコミューズを支えてくだ  
さい。あなたの寄付金は青  
空へつながります。

●寄付の方法  
郵便局からお振込いただ  
けます。また、直接エコミ  
ューズにお越しただいても  
結構です。

【口座番号】  
千円  
【二口】十万円／一万円／  
千円  
00960191  
124893

ポランティア隊  
「エコミュー★募集  
あなたも「エコミュー★」に  
入っちゃお！資料整理や  
展示、イベントの手伝いなど、  
活躍の場がいっぱいです。  
交通費●実費支給(上限  
2000円)  
どうぞお気軽にお問い合わせ  
をください。



エコミューズの活動は  
Hamon基金によって支えられています。



### エコミューズは 青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資  
料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富で  
す。ぜひご利用ください  
開館●月曜日、金曜日(祝日は休み)  
10:00AM~5:00PM [要予約]  
利用●図書の貸し出し期限は2週間  
書庫資料や裁判記録は閲覧のみ